

【社会情報学部との協力により国際シンポジウム／ワークショップ開催（11月25日）】

11月25日（土）荒牧キャンパスで社会情報学部との協力により国際シンポジウム／ワークショップ「現代メディア技術とナショナリズムーアジアと世界」を開催しました。社会情報学部の平田知久講師を中心に企画された本シンポジウム／ワークショップには、公募により世界から6人の若手研究者が参加しました。

名古屋大学大学院国際開発研究科日下渉准教授とユトレヒト大学メディア文化学部 Koen Leurs 助教による第一部の講演に続いて、午後の第二部では、社会情報学部の岩井淳教授の司会で、ユトレヒト大学の Milica Trakilovic 氏、Madhuri Prabhakar 氏、城西大学の澤田舞衣子氏、東京大学の Erica Paula Sioson 氏ら若手研究者によるワークショップが行われました。

常勤職を持たない若手研究者に英語での報告の機会を提供すると同時に「メディア」をテーマに世界各国の若手研究者や中堅研究者との意見交換を行うという当初の目的を達成したほか、参加した本学学生にも、熱く議論を交わす国際的な研究者のロールモデルを提示する絶好の機会となりました。

